

◎日本国とオーストリアとの貿易に関する交換公文

(略称) オーストリアとの貿易取極

昭和四十四年十二月二十三日  
昭和四十五年一月二十三日

ウイーンで  
効力発生  
告示  
(外務省告示第八号)

目

次

ページ

日本側書簡

四一

一九六六年の取極の一九七〇年への適用

四一

オーストリア側書簡

四二

(日本国とオーストリアとの間の貿易に関する交換公文)

(Japanese letter)

Vienna, December 23rd, 1969

(日本側書簡)

日本側書

(訳文)

(日本側書簡)

書簡をもつて啓上した。本官は、日本国政府及びオーストリア政府の代表がウィーンにおいて最近行なつた会談に即及し、会談の結果到達した次の了解を確認する光榮を有した。

一九六六年一月の年取極用の年一九年の七極

千九百七年六月三十日までの間、日本国とオーストリアとの間の貿易関係は、千九百六十六年十一月四日付けの交換公文に盛られた取極（千九百六十八年十二月二十四日付けの交換公文により改訂された「オーストリア輸入品目表」を含む）の規定に基づいて規律される。

貴官が、前記のことを貴国政府に代わつて確認されねば都合あります。本官は、以上を申し進めるに際し、なんぞ貴官に向かつて敬意を表します。

千九百六十九年十一月二十三日 ジャ・マイスル

在オーストリア日本大使館

参事官 樋 正忠

連邦通商産業省

参事官 ジャヤフ・マイスル

Sir,

I have the honour to refer to the discussions which have recently taken place in Vienna between the representatives of the Japanese and Austrian governments and to confirm the following understanding reached as a result of the discussions:

Until June 30th, 1970 the trade relations between Japan and Austria shall be regulated on the basis of the provisions of the arrangement embodied in the letters exchanged on November 4th, 1966, including the "Austrian Import List" as amended by the letters exchanged on December 24th, 1968.

I shall be grateful, if you would confirm the foregoing on behalf of your Government.

Accept, Sir, the assurances of my high consideration.

(Signed)

Masatada Tachibana  
Minister-Counsellor  
Embassy of Japan in  
Austria

Dr. Josef Meisl  
Ministerialrat  
The Federal Ministry of Trade  
Commerce and Industry,  
Stubenring 1  
1010 Vienna

オースト  
リア側書

(オーストリア側書簡)

(Austrian letter)

Vienna, December 23rd, 1969

Sir,

I have the honour to acknowledge the receipt of your letter of today's date which reads as follows:

"(Japanese letter)"

本官は、前記の如くをオーストリア政府に代わつて確認する光榮を有します。

本官は、以上を申し進めるに際し、なんど貴官に向かひて敬意を表します。

千九百六十九年十一月二十三日 ウィーハー

連邦通商産業省

参事官 ジャヤフ・マイベル

Mr. Masatada TACHIBANA  
Minister-Counselor  
Japanische Botschaft  
1010 Wien

(Signed)

Josef MEISL

Ministerialrat

オーストリア大使館  
参事官 橋 正忠殿

(参考)

この取極は一九六六年の貿易取極（昭和四十一年一国間条約集・条約集第一六五三号参照）が一九七〇年一月一日から同年六月三十日までの六箇月間に亘り適用されるることを定めたものである。